

森のおくりもの6月



エゴノキ (エゴノキ科)



写真：菊池正行

深緑の季節6月となりました。入梅までの短い期間、例年は晴れた日が多いといわれておりますが、今年はどうなることでしょうか。これから季節、イチヤクソウやヤマボウシなどまだまだ多くの花がみられるようになります。梅雨の前の自然観察の森をぜひお楽しみいただければと思います。

(館長 菊池正行)

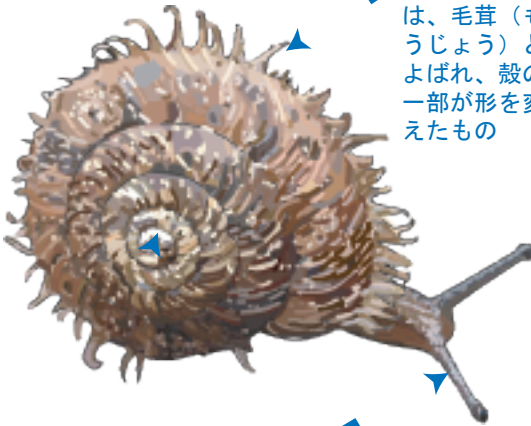


梅雨時期によく目にするのは、カタツムリではないでしょうか。今回は、観察の森で見られる特徴のあるカタツムリを紹介します。これらのカタツムリは見たことがありますか？巻き方などに注意して観察してみましょう。

毛の生えたカタツムリ？

オオウケマイマイ

【殻径約17mm】



◆ 毛に見えるのは、毛茸（もうじょう）とよばれ、殻の一部が形を変えたもの

◆ ここが一番幼い頃の殻

◆ 角は4本小触覚（臭いを感じる器官）2本と眼触覚（見る器官）2本どちらも伸縮自在

●カタツムリには、歯舌というおろし金のような口で削り取るように食べます。小鳥の森へ向かう途中のガードレールに、カタツムリが藻類を食べた痕が残っています。藻類のほか、キノコや枯葉なども食べます。

●カタツムリは雌雄同体なので、同じ種類2匹いれば、2匹とも繁殖することができます。2匹くっついての姿は何だか不思議な光景ですよ。

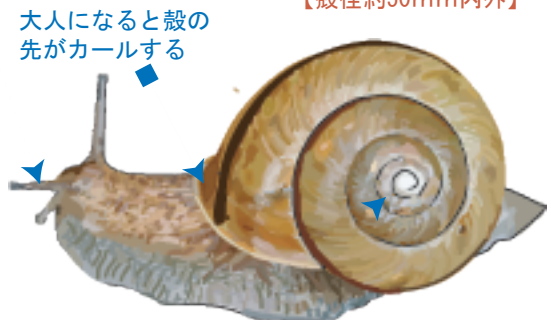
●蝸牛（かたつむり）の呼び方は他にも「デンドムシ」、「マイマイ」などと呼ばれたりして、古くから親しまれてきました。

●カタツムリは巻貝の仲間です。巻貝の貝殻は主に炭酸カルシウムでできていて、成長するのに合わせて貝殻の口のところに石灰質を塗りたしながら殻を大きくしていきます。（生まれた時から殻をもっているよ）

●オオウケマイマイは観察センターの横のコンクリートでよく見かけますが、それは、石灰質を摂取するために、上を這っていたのですね。

ヒダリマキマイマイ

【殻径約50mm内外】



◆ 大人になると殻の先がカールする

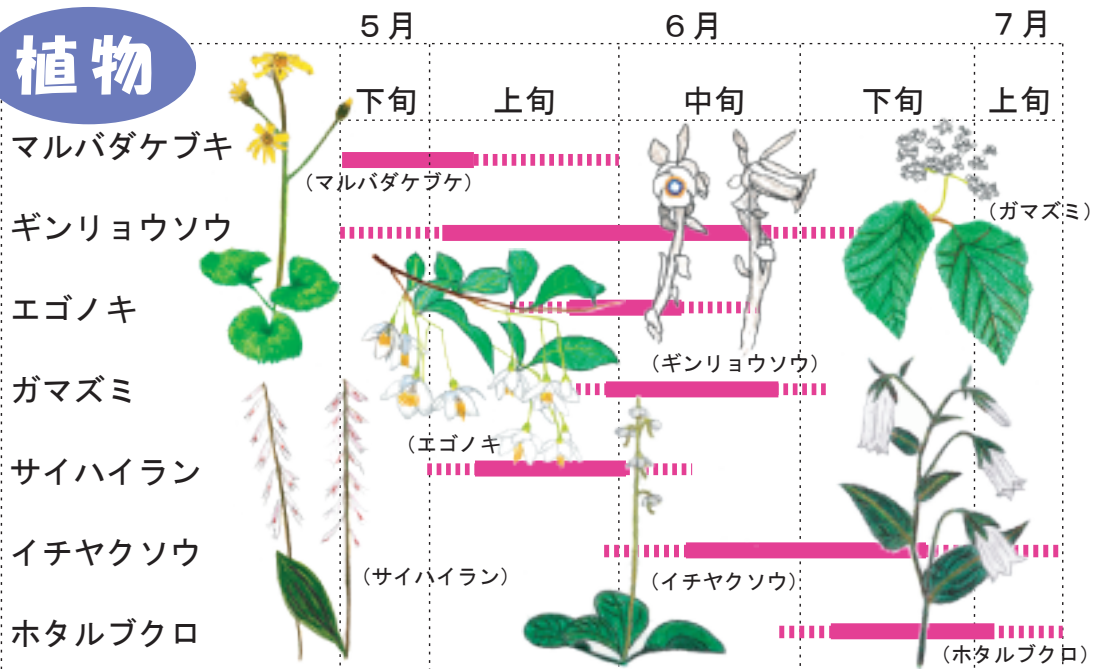
◆ 真ん中からみて、反時計回りのものを左巻きとみます。

【レンジャー：黒川周子】

*カタツムリを触ったら・・・カタツムリの仲間には、「広東住血線虫」という線虫の中間宿主（運び屋）になるものがあります。皮膚から入ることはありません。ただし雑菌が手につくことがあるので、カタツムリをさわったら、不用意に手を口に持っていかないようにし、せっけんて手を洗いましょう。

6月の生物ごよみ

植物



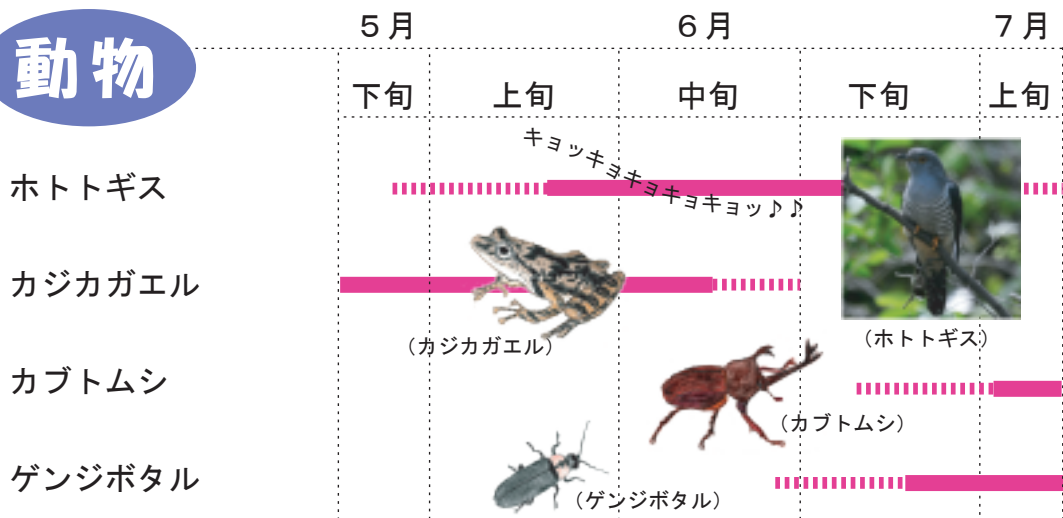
センター前芝生広場付近にあるサワフタギの木に今年はシロシタホタルガの幼虫が大発生！気づけば丸坊主にされていました。幼虫はカラフルな配色でとても目立ちます。擬態とは違い、自分を目立たせること（警告色）で守られているのかもしれませんが。

ちなみに、今年はサワフタギの花はほとんど咲きませんでした。シロシタホタルガの影響とは別のようなようです。



シロシタホタルガの幼虫

動物



【レンジャー：齋 正宏】

森で見つけた！

今月のはっけんメモ

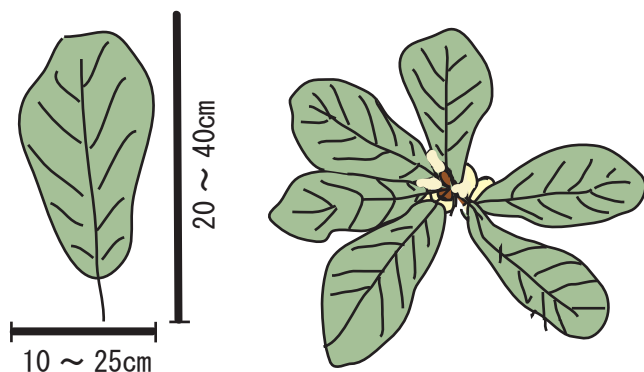
このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思います。

はっけんメモ その1 『ホオノキの花が見たい！』

日本の樹木の中でもとりわけ大きな葉と花を持つ「ホオノキ」。葉っぱが良い香りを持っていることは”朴葉味噌”などで有名ですが、初夏に咲く花も強い芳香があるそうです。

ホオノキは高さが20～30メートルにもなる高木で、葉や花は枝先に上を向いて開きます。そのため花の姿を横や上から観察できることはあまりありません。

自然観察路沿いにある花をつけるホオノキは、どれも太い幹を持った背の高い木ばかり。下から見上げてみても葉の間から花の後姿を見つけるのがやっとです。



ホオの葉は枝先に風車のようにまとまってつくのが特徴です。葉っぱの周りになめらかでギザギザの鋸歯がありません。よく似ているトチノキの葉にはギザギザの鋸歯があるので、簡単に区別できます。

しかし、どうにも気になる。いったいホオノキの花はどんな姿をしているのか？と、自然観察路を探し回ってみたところ...

見つけました！少し遠いので双眼鏡やカメラのズームを使い、観察しました。

今回は残念ながら花の香りを利くことはできませんでしたので、ホオノキの花の香りを楽しみに、つぼみを探して歩く日が続きそうです。

【レンジャー 河合 遥】



(場所は観察路の端っこ
“番号杭 カ23” 近く、南側の斜面です。)

さがしてチャレンジ !!!



丸くてとげとげ、
お花かな？
それとも風車？



正解は、セリバオウレンという植物の種です。袋の端っこに急須の口のような穴があいているので、種がなかにあるときは、指ではじくと種が飛び出てきます。



新人レンジャーの巡回日記

5月のとある日の巡回中に見つけた「初めて」を紹介します。

いつものように観察センターの前の芝を歩いて「いこいの道」へ行こうとしていたその時！今にも噛みついてでも来そうな雰囲気
が！近寄ると茎にはまだらの模様が入り、白い筋の入った花を斜めに曲げて立つ草でした。調べてみるとこの植物は、茎の模様や雰囲気から「マムシグサ」と名付けられていることが分かりました。



マムシグサ



次は「太白の道」での「初めて」です。新緑を気持ち良く感じながら登って行くと、イヌブナの木の中にもクルクルときれいに巻かれた葉を発見しました。これは、オトシブミという甲虫の雌が卵を産むために、せっせと葉を丸めて作った巣だと分かりました。オトシブミのゆりかごですね。このゆりかごは専用ゆりかごで、1枚の葉に1つ（複数もあり）の卵を産み付けるそうです。そして中の卵が孵ると自分が包まれていた葉を食べて成長するそうです。



オトシブミの
ユリカゴ



このコーナーでは新人レンジャーの私が毎日出会う「初めて」を紹介していきます。まだまだたくさんある自然の不思議。わくわくします。



イベントの報告

5月10日（土）に未就学のお子さんと家族の方を対象としたイベント、「若葉の虫むしめつけ」が行われました。当日は青空の下、新緑の葉や木の陰などを見たり触ったりしながら森に住む虫たちを探して歩きました。始めは虫の形や動きに驚いていた子たちも、すぐに慣れて、いろいろな虫を手にとって楽しそうに触れ合う姿が見られました。



こんな虫たちを
見つけたよー！

※イベントによっては、申し込みが必要なことがありますので、詳しくは、イベントのお知らせの覧でご確認下さい。



【レンジャー：鷺 千尋】



6月のイベント&お知らせ

◆「おはよう野鳥かんさつ」6月7日(土) 6:30～8:00

・初夏の雑木林を歩きながら、野鳥のさえずりを楽しみます。

【定員】定員なし 申込み不要 【料金】無料

【持ち物】歩きやすい服装、雨具、あれば観察用具(身分証提示で双眼鏡の貸し出しあり)

◆「深緑の鉤取山ハイク」6月14日(土) 10:00～15:00

・若葉薫る鉤取山原生林の自然を観察しながら、ハイキングを楽しみませんか?

【定員】先着20名 【料金】無料

【持ち物】歩きやすい服装、雨具、昼食、飲み物

【申込み】6月6日(金) 9:00から電話で

◆「キッズ昆虫たんけん隊」6月21日(土) 10:00～12:00

・昆虫を捕まえ、スケッチをしてじっくり観察をします。

(保護者の方は子供と別に森をご案内します。)

【定員】15名(応募多数時は抽選) 【料金】無料

【持ち物】歩きやすい服装(長袖長ズボン)、帽子、雨具、飲み物

【申込み】6月14日(土)までEメールか往復はがきで



◆「窓辺に飾る雑木林 小箱庭づくり体験」6月28日(土) 13:30～15:00

・観察の森で芽生えた木の赤ちゃん(実生)を集めて、小さな寄せ植えを作ります。

【定員】先着20名 【料金】1作品500円(1人1作品のみ)

【持ち物】歩きやすい服装、レジ袋、軍手、シャベル、帽子、虫除け、雨具、飲み物

【申込み】6月10日(火) 9:00から電話で

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

6月の開催日は

1日、8日、15日、22日、29日

開催時間:午前 10:00～11:30

午後 13:30～15:00

◎29日の午後は、自然観察センター館長がご案内します。
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!

イベント申込用



6月の休館日

2日、9日、16日

23日、30日

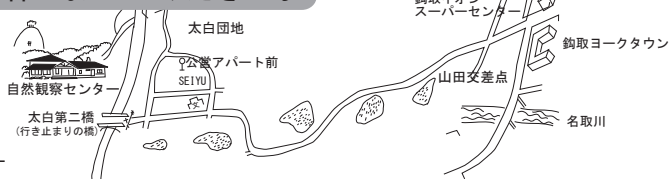
宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



4月からBLOG開始! 自然観察の森の最新
情報、「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2014年6月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp